

令和4年度 大阪府立東大阪支援学校 第3回 学校運営協議会（記録）

令和5年2月17日（金）13時30分～14時45分

1.開会

2.校長挨拶 本年度の学校評価と来年の学校経営計画を説明させていただきます。貴重なご意見をいただいて反映していきたい。

3.協議

①令和4年度学校経営計画 本年度取り組み内容や自己評価について

（校長より報告・説明）

今年度の目標はおおむね達成できた。非常用持出袋の提出率は学期ごとに見直していることで提出が進まないところもあった。過半数を超える学年は目標値を越えていた。今後もあの災害備えということを伝えていきたい

委員）職業コースはどのぐらいの人数がいるのか。

→各学年5名で、事前にアセスメントを行なっています。

委員）非常用持出袋にはどのようなものが入っているのか？支援学校で行われている「障がい理解」の研修はどんなことをしているのか？

→袋の中には個々にあった食事や安心できるものが入っている。袋は新生児に配布している。研修は事例検討やもとに専門家から研修を受ける。全校では大学の講師を招いて研修を行った

委員）主治医学校見学会の4件の内訳は？

→申し込みは4件あり、訪問看護ステーションや主治医が見学した。

委員）外部専門家とはどのような人たちなのか？

→理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、整形外科医、補装具などを作成している業者等です。

委員）会議のルールを検討したということだが、どのようなことを行ったのか？

→会議の順番や会議のペーパーレス化などを行なった。

②令和4年度 学校教育自己診断アンケートの検討と回答について

（担当首席より報告説明）

校内の学習環境や施設設備に関する項目について、教室の環境や設備に関して見直す機会を増やすなどの対応を行う。

③令和5年度学校経営計画

(校長より報告・説明)

委員) 医ケアに関することが出ていない。

→マニュアル作成し、ある一定進めることができた。

委員) ヒヤリハット事例共有 良いこと。中学校での計画では生徒指導(不登校いじめ等)にフォーカスしてしまおう。

→いじめ認識していない。不登校は個々で対応している。コロナ不安での場合は、緩和されて行く時にどのように登校へ繋げていくべきか課題

委員) 職業コースはコロナ禍で外部での連携をどのように行うのか?

→来年度もっと増やせたら。今年度は特例子会社見学を行なった。

委員) 開かれた学校地域文部科学省からの通知で、令和5年度に支援学級から通級や通常学級へ。問い合わせや相談が増えるのではないかと?今まで以上に密接に連携していければと考えている。

→問い合わせは増えていない。支援学校へ転校する相談は今のところない。

④進路

就労移行より自立訓練でゆっくり考える。地域で長く働きたいと B 型を選ぶ人もいる。グループホーム併設でないと…と言われる方もいる。

委員) レピラの取組: 企業の方が10人以上来ている(学校にも入ってもほしい)。以前はネットワーク(支援者や学校が主)企業が地域とつながろうと求めてきている。